



AO | 八王子病院

虐待防止のための指針

AO | 八王子病院医療安全管理委員会



目 次

1. A O I 八王子病院における本指針の基本的な考え方	2
2. 虐待防止委員会【人権擁護委員会】その他施設内の組織に関する事項.....	2
3. 虐待防止のための職員研修に関する基本方針	2
4. 病院内、で発生した虐待の報告方法等の方策に関する基本方針.....	2
5. 虐待発生時の対応に関する基本方針	3
6. 成年後見制度の利用支援に関する事項.....	3
7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針	3
8. その他虐待防止の推進のために必要な基本方針	3

1. A O I 八王子病院における本指針の基本的な考え方

虐待は人権侵害であり、犯罪行為という認識のもと、障害者虐待防止法の理念に基づき、利用者の尊厳の保持・人格の尊重を重視し、権利利益の擁護に資することを目的に、虐待の防止とともに虐待の早期発見・早期対応に努め、虐待に該当する次の行為のいずれも行わない。

- ① 身体的虐待： 患者の身体に外傷が生じ、または生じる恐れのある暴行を加え、又は正当な理由なく患者の身体を拘束すること。
- ② 性的虐待： 患者にわいせつな行為をすること又は患者にわいせつな行為をさせること。
- ③ 心理的虐待： 患者に対する著しい暴言、著しく拒絶的な対応又は不当な差別的な言動その他の利用者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。
- ④ 放棄・放置： 患者を衰弱させるような著しい減食または長時間の放置、他の患者による①から③までに掲げる行為と同様の行為の放置その他の患者を擁護すべき職務上の義務を著しく怠ること。
- ⑤ 経済的虐待： 患者の財産を不当に処分すること、その他患者から不当に財産上の利益を得ること。

2. 虐待防止委員会【人権擁護委員会】その他施設内の組織に関する事項

(1) 虐待防止委員会【人権擁護委員会】の設置及び開催

虐待発生防止に努める観点から、虐待防止委員会【人権擁護委員会】(以下「委員会」という。)を設置する。委員会は、年に1回以上開催し、次の事を協議する。

- ・虐待の防止のための指針の整備に関すること
- ・虐待の防止のための職員研修の内容に関すること
- ・虐待等について、職員が相談・報告できる体制整備に関すること
- ・職員が虐待等を把握した場合に、法人本部を始め、外部関係機関への通報が迅速かつ適切に行われるための方法に関すること。
- ・虐待等が発生した場合、その発生原因等の分析から得られる再発の確実な防止策に関すること。
- ・再発の防止策を講じた際に、その効果についての評価に関すること

(2) 委員会の構成メンバー

委員会の運営責任者は看護部長とし、構成メンバーは医療安全管理委員会のメンバーとする。

(3) 身体拘束等適正化委員会や、関係する職種、取り扱う事項が相互に関係が深い場合には、他の委員会と一体的に行う場合がある。

3. 虐待防止のための職員研修に関する基本方針

虐待防止のための職員研修を原則年1回および新規採用時に実施する。

研修内容は、基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発するものであるとともに本指針に基づき、権利擁護及び虐待防止を徹底する。研修の実施内容については研修資料、実施概要、出席者等を記録する。

4. 病院内、で発生した虐待の報告方法等の方策に関する基本方針

- ① 職員等が、患者への虐待を発見した場合、院内連絡体制に基づき連絡を行い、法人本部をはじめとした関係機関へ報告を行う。

- ② 院内連絡体制に基づき連絡を受けた各所属長、医療安全管理責任者は、報告者の権利が不当に侵害されないよう注意を払い、虐待等を行った事実確認を行い、必要に応じ、関係者からの事情を確認する。
- ③ 事実確認の結果、虐待等の事象が事実であると確認された場合には、当人に対応の改善を求め、就業規則に従い必要な措置を講ずる。
- ④ 上記の対応を行ったにもかかわらず善処されない場合や緊急性が高いと判断される場合は、外部機関に相談するものとする。
- ⑤ 事実確認を行った内容や、虐待等が発生した経緯を踏まえ、委員会において当該事案がなぜ発生したか検証し、原因の除去と再発防止策を作成し、職員に周知する。
- ⑥ 虐待等の発生後、再発が想定されない場合であっても、事実確認の概要及び再発防止策を法人本部及び外部機関に報告する。

5. 虐待発生時の対応に関する基本方針

虐待等が発生した場合には、院内連絡体制に基づき速やかに院長に報告するとともに、その要因の除去に努める。客観的な事実確認の結果、虐待者が職員であったことが判明した場合には、就業規則に則り厳正に対処する。また、緊急性の高い事案の場合には、行政及び警察等の協力を仰ぎ、被虐待者の権利と生命の保全を優先する。

6. 成年後見制度の利用支援に関する事項

患者またはご家族に対して、必要に応じて利用可能な成年後見制度について紹介し、求めに応じ、適切な窓口を案内する等の支援を行う。

7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、患者や家族等が自由に閲覧できるように、院内に常設し、また、病院 HP に公表する。

8. その他虐待防止の推進のために必要な基本方針と患者相談窓口

「3. 虐待防止のための職員研修に関する基本方針」に定める研修のほか、外部機関により提供される虐待防止に関する研修等には積極的に参画し、患者の権利擁護と医療サービスの質を低下させないように常に研鑽を図る。また、患者の相談に応じる窓口として「患者相談窓口」を設置し、HP や入院案内等で窓口の活用を促す。

2024 年 8 月制定